



平成29年 1月 6日 NO.54

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL.029-269-2116
 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

毎日日本気!

三年齋藤 輝希
 年が明け、中学校生活最後の二学期が始まりました。一・二学期を振り返り、二つのことを目標にしました。
 一つは、「毎日日本気」で学習に取り組むことです。自分は三年生になっても、休み時間から授業への気持ちの切り替えが遅く、授業開始のあ

いさつの時に近くの友人と話し続けていることもありました。当然、授業中も学習にしっかりと気持ちを向けられず、テストの点数も上がらずに悩んでいました。しかし、二期の半ば頃から、受験生であるという自覚をもつことができ、授業の受け方を考え直すことができました。そして、
 数学や理科では、目標点数を超えるようになり、自主学習にも進んで取り組めるようになりました。
 自分で決めた「毎日日本気」という目標を忘れずに、受験生として二学期最後まで頑張りたいと思います。
 もう一つは、一学期後半から始めた「朝の清掃」です。昨年度の先輩方が積極的に取り組まれていた朝清掃を見て、自分も朝の少しの時間で学校をきれいにできたら良いなと思い、始めました。最初は友人と二人で始めましたが、今では七・八人に増えていきます。この「朝清掃」は、自分にとってすごくプラスになっています。目が覚めたり、どんどんきれいになっていく達成感を感じたり、気持ちよく学校生活がスタートできます。自分は、これから卒業まで学校の隅々まで「朝清掃」を続け、今以上にきれいな学校にして卒業したいと思っています。
 私たち三年生は、これから受験勉強の追い込みに入ります。どんなに辛くなっても、目標の高校に入り、みんな最後に笑えるように、二学期を頑張っていきます。「毎日日本気」を忘れずに、先生方にも喜んでいただける結果を出せるように、最後の二学期を頑張りたいと思います。



「心を食いしぼることに 神様は 味方する」
 常中魂
 齋藤輝希さん

感謝の気持ちを忘れない

平成29年酉年、そして3学期が今日からスタートしました。
 この休み中、大きな事故・事件もなく全員が元気な顔で再開できたことを、まずはうれしく思います。
 さて皆さん、齋藤さん達代表生徒が、本学期的抱負を述べてくれました。今回も「常中魂」が感じられる「常中スタイル(ノー原稿はもちろん、できる限り、暗記した原稿を読むのではなく語る)」での発表でした。
 また、フロアーの皆さんの聴く態度も立派でした。
 「心のスイッチをきちっともつ」(真面目になるべきときは)真面目であることがカッコいい!などの、フロアーの

皆さんの「常中スタイル」も立派でした。
 「皆さんの姿を地域の人たちに見てもらいたい」心からそう思います。
 さて、残り3か月。最後の学期の私自身の目標は、
 「全ての人・事・モノに感謝の気持ちをもって卒業・進級する(させる)」ことです。3学期最後の日に「感謝の気持ちを持ち、日々を過ごすことができた」と言えることです。
 私自身、そして皆さん一人一人が、先生方や、仲間たち、そして教室、この年の出来事に「感謝の気持ちを忘れなかった。」そう思える学期になったら、すばらしいですね。【学校長より】



始業式の様子 【常中スタイルに誇りをもつ】
 生徒代表による3学期の豊富を聴く生徒の姿 (発表者・渡邊こころ、石川佑真、齋藤輝希) 敬称略